

## レース報告

[1] 大会名 **長良川国際トライアスロン 2024**

[2] 開催日 2024年7月21日(日) スタート 8:30

[3] 開催地 長良川スポーツセンター周辺特設コース

[4] 競技情報 スタндартディスタンス(熱中症警戒アラート発令により距離変更)

スイム 1.5km (750m×2) バイク 20km (5km×4) ラン 5km (2.5km×2)

[5] 大会結果 **総合 12位 年代別 1位**

福元テツロー(52) 総合 1時間 19分 44秒=スイム 25:54(20) バイク 31:57(12) ラン 20:15(22)

### 【感想と想い】

灼熱の岐阜県で開催される長良川大会は昔から猛暑が特徴のレースで選手皆が警戒する。中にはこの大会を避ける選手もいるくらいだ。暑さに強い?好き!といった私でさえさすがに近年は暑さで運動機能が落ちることは痛感している。その中で何とかしのぎ「あきらめない」レースを志しているのは自身の特徴だと思っている。今回は前半戦の連戦で最終戦。競り合うだろうと思っている選手たちはいない感じていたが、スイムから圧倒的に離される展開。無理をできるだけしたくない・・・隙があったと今になって思った。

今回は熱中症警戒アラートが発令され、バイクとランの距離を半分して競われた。バイクで1分少々まで詰めたが、残りランで1分を詰めていくことはたやすいことではないが、自分も動かないがみんなも同じ動いていない。「後半の自分を信じた!」必ず動くようになる。ロックオンした選手に対しては必ず勝負してきた自分の特徴を信じた。2周する1周目(中間地点)で30秒しか追えなかった。年代別1位を走っていることを知っている選手は気持ちも強くなっている。ペースを上げるが相手も同じ。ラスト500mからスパート!追いついたが相手も追いつがる。横に並ぼうとしたライバルを感じた瞬間、渾身のラストスパートでフィニッシュゲートのストレートへ飛び込む。4秒開けてゴールできたが、ぶっ倒れた。(HPで動画を見てもらいたい)心臓がはちきれそうだ!そんなレースになるのだろうと覚悟はしていたが、さすがに苦しく耐えがたい。しかし、プランと違ったレースであっても、あきらめないレース運びができ最後には結果と形になることは快感なのか・・・さすがに苦しくレースを終えて帰ってこることができた。この想いと気持ちをどのように皆さんに伝えるのが私の仕事。わかりやすく、ストンと心に来る言葉と力を吹き込みたい。ラジオの生放送の仕事が増えたことで、最近はそれはすごく意識をした。プロとしての生き方の幅を広げ膨らんでいることを感じます。今後とも応援よろしくをお願いします。

夢追い人 プロマインドトライアスリート 福元テツロー





